



相模原市役所

職種別業務説明
(土木職・造園職)

公務員の仕事に共通するもの

警察官 : 社会の治安維持

公立学校の教師 : 教育・若者の育成

自衛官 : 国家の安全保障



公務員は、法律や条例に基づき事務を執行し、
「公共サービスを提供する仕事」

市役所職員の提供する公共サービスは？

証明書の発行

福祉・健康

税金・年金

子育て・教育

広報・観光

スポーツ・文化

まちづくり

環境・経済

危機管理

市役所公務員の業務は多岐にわたる！！

①地域住民の生活を支えること

②まちの発展を担うこと

セクション：土木職

目次(のようなもの)

- ・配属先、役割
- ・民間企業との違い
- ・関わる分野、具体的な業務紹介
- ・年齢構成、人事異動について

土木職職員の主な配属先(相模原市)

都市建設局 : **220名**

まちづくり

道路部 ・ ・ 道路整備課、中央土木事務所など 10 所属
下水道部 ・ ・ 下水道経営課、下水道整備課など 5 所属
まちづくり推進部 ・ ・ 都市計画課、交通政策課など 8 所属
局付け ・ ・ 都市建設総務課など 7 所属

環境経済局 : **24名**

環境・経済

水みどり環境課、公園課 など

その他: **4名**

土木職職員は
全体で
約 **250名**

他局・国土交通省への出向

配属先の業務について

まちづくりに関する業務（マクロ）

駅前開発（再開発事業等）
産業拠点創出（土地区画整理事業等）
都市計画道路の整備
駅周辺のバリアフリー化
多言語表記の案内板設置
河川、下水道の整備
防護柵の設置、舗装の維持管理

リニア中央新幹線の駅周辺
インターチェンジ周辺 等



玄関先、通学路、日常生活
に関わる場所

生活に身近な業務（ミクロ）

①地域住民の生活を支えること

②まちの発展を担うこと



土木職職員に求められる役割

行政のプロ

- 健全な市政運営
- 公平公正な判断、倫理観

土木のプロ

- 技術力でインフラを支える
- 高度な専門知識

土木系公務員



事務職 その他専門職

国家 他自治体

ゼネコン・建設会社

コンサル 鉄道事業者

道路事業者

公共サービス

道路や下水など
インフラ整備・維持管理
専門的な知見が必要な分野

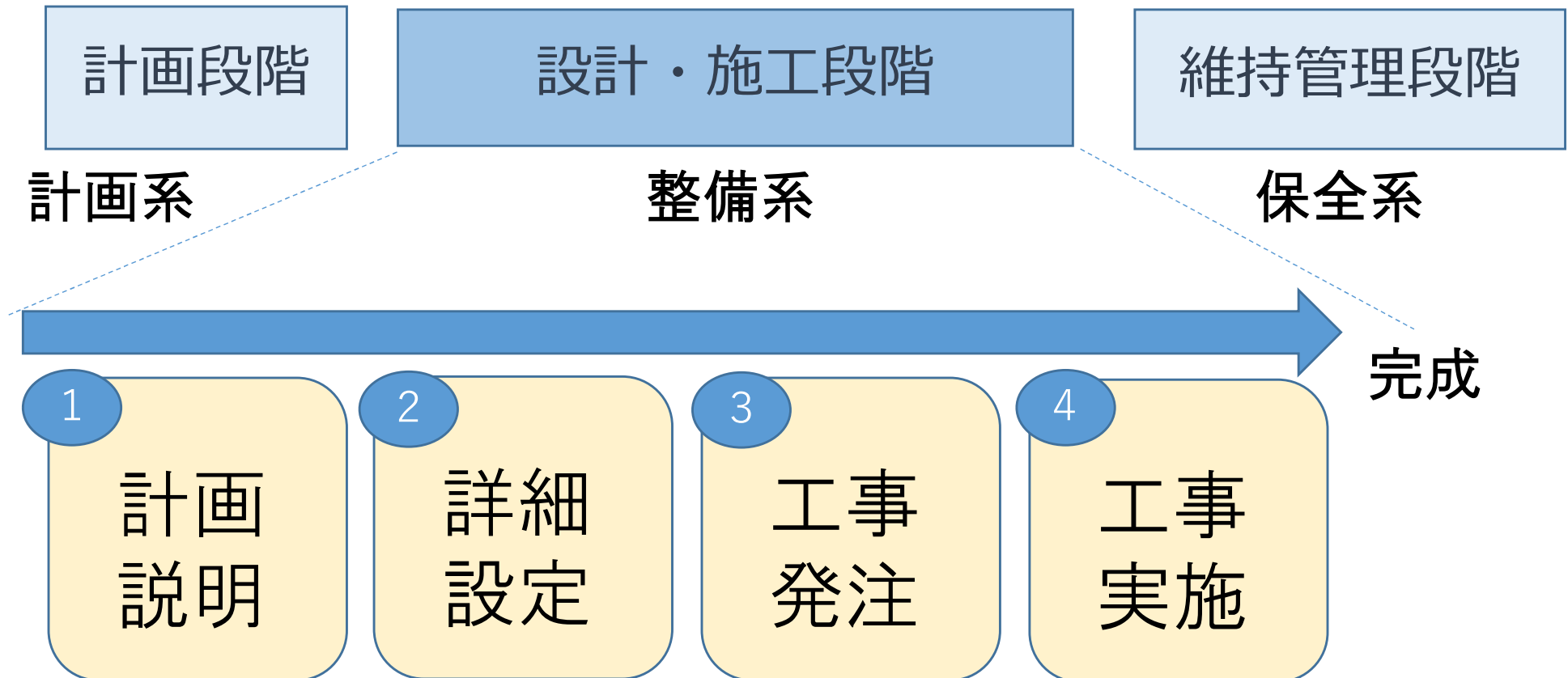
市民

土木のプロが行政にいれば
安心できる

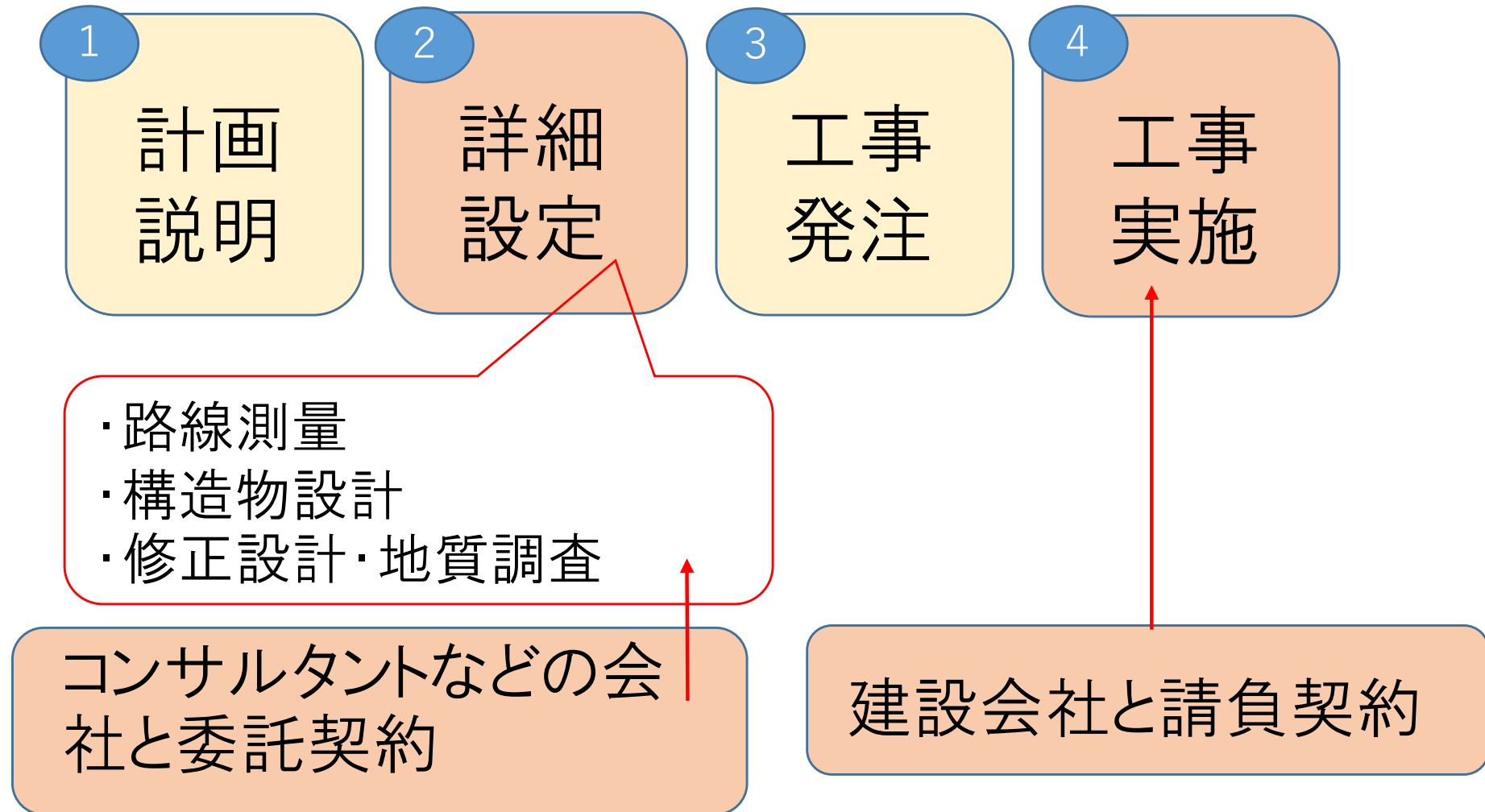


新しい道路を作るにあたって(プロセス)

● 公共事業全体のプロセス

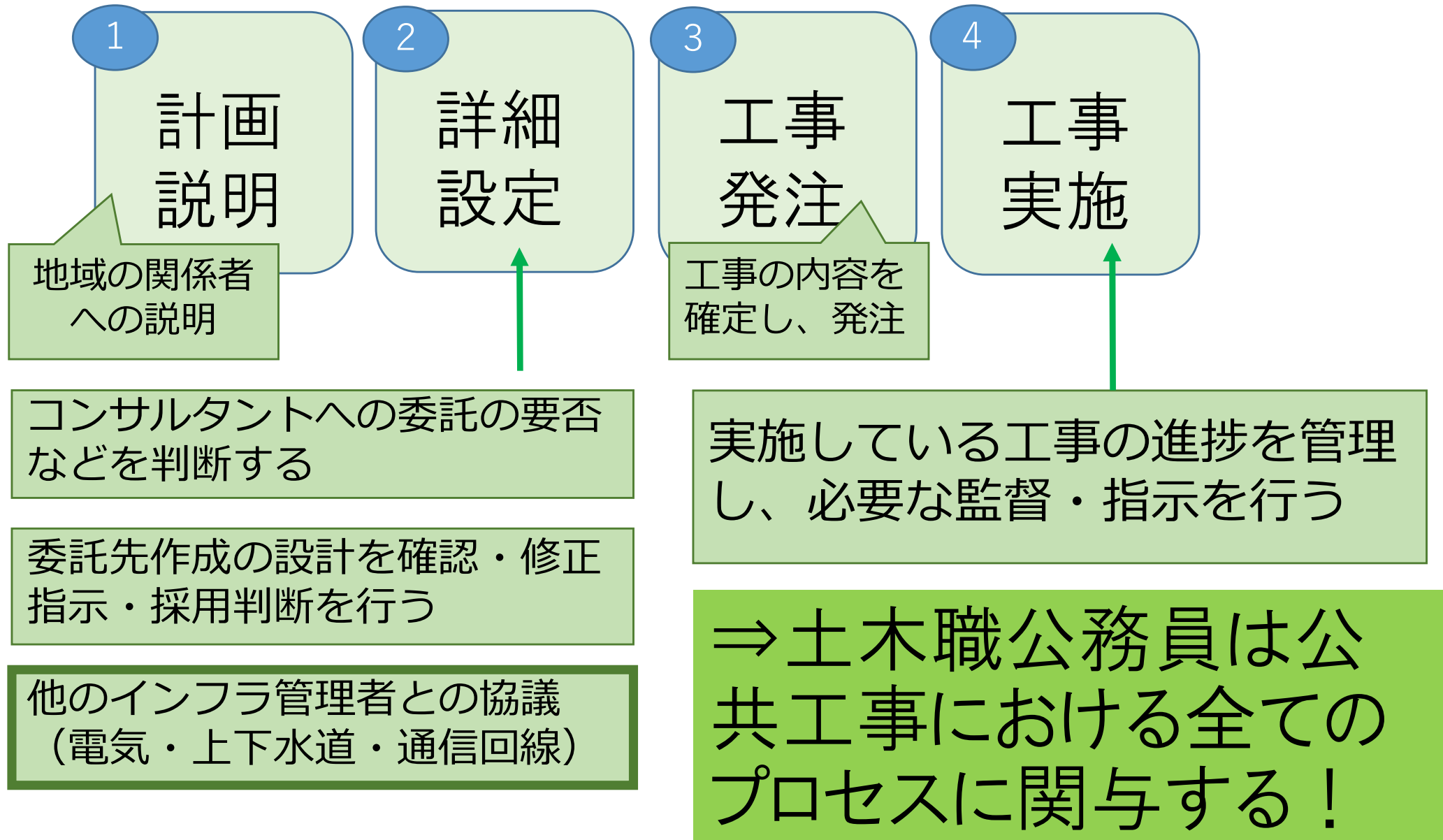


新しい道路を作るにあたって(民間会社)



⇒公共事業を行うにあたり、
多くの場面で民間事業者への委託などが行われる！

新しい道路を作るにあたって(市役所職員)



公務員と民間事業者の比較(まとめ)

公共工事の場面において…

民間会社（コンサルタント業務、建設業者）

⇒各プロセスの一部に特化したプロフェッショナルとして活躍

市役所職員（土木職公務員）

⇒公共工事の全ての流れに関与し、
主体として業務を遂行する

「ゼネラリスト」として活躍

都市建設局における土木職の主な業務～

道路行政分野（土木部）

公共インフラである道路に関する業務として計画の作成・整備・維持補修などを実施します。
その他の業務として、河川や橋りょうについての管理も担当します。



下水道行政分野（土木部）

公共インフラである下水に関する業務として計画の作成・整備・維持補修などを実施します。



道路

下水道

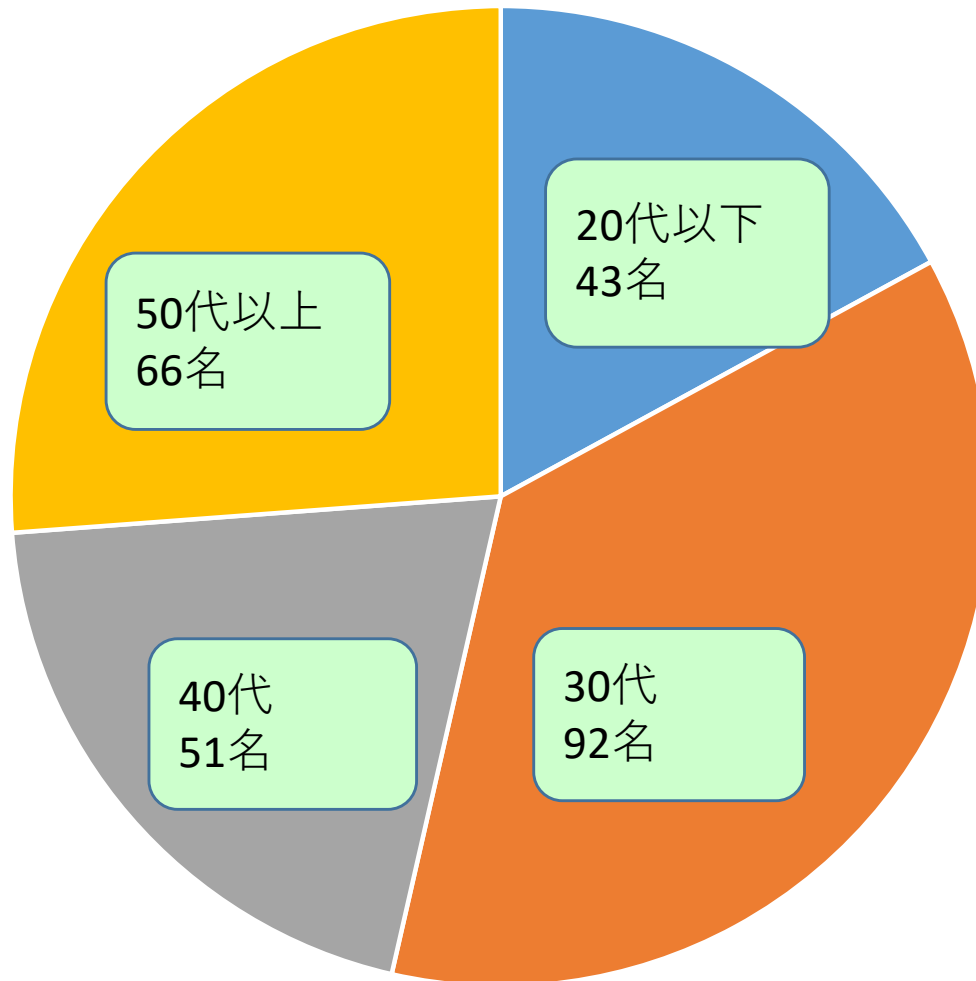
まちづくり



まちづくり分野（まちづくり推進部 ほか）

都市計画など、まちづくりにあたっての目標をつくったり、その目標の具現化のため、多種多様な関係主体を組織し、コーディネートしていく業務を行います。

職員の年齢構成(土木職 R7年度)

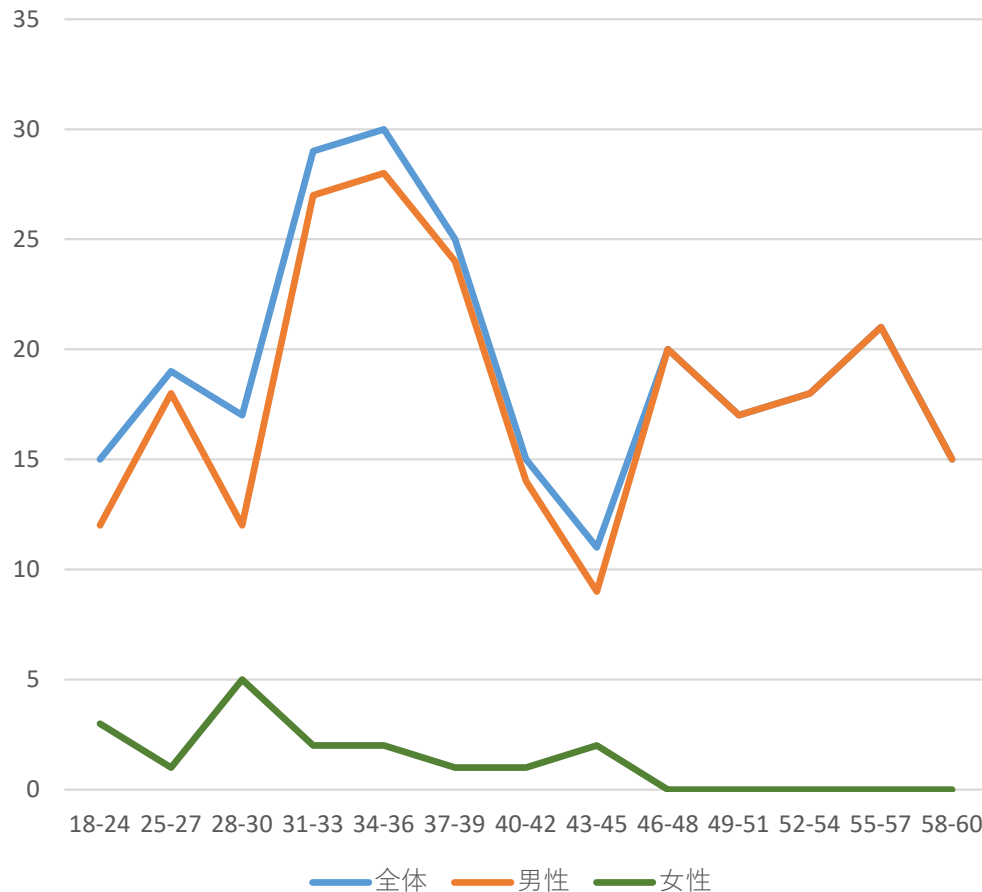


傾向

- ・土木職の配属先が32所属あるが、新規採用職員の方が配属されるのは、主に道路・下水道部門を中心に11所属ほど。
- ・この所属には、技師（20代中心）の職員が2名は配置されています。

⇒若手の新採職員が、先輩に質問しながら仕事を進めやすい環境になっています！！

職員の男女比率(土木職 R7年度)



傾向

- ・ 男性職員235人に対して、女性職員17人
- ・ 中堅～若手職員では女性職員が徐々に増えています。
- ・ 10年前は5名程度 ⇒現在17名と3倍に増加しました。

⇒産休・育休取得がしやすく、
また、短時間勤務・時差出勤も
出来るため、仕事を続けやすい
職場環境です！

男性の土木職職員も積極的に育休取得をしています！

市役所職員の人事異動（相模原市）

●人事異動のイメージ

採用	昇任
技師／主任	主査／副主幹以上
“ジョブローテーション”期間	“コース選択”期間 （コース選択修正期間）
多岐にわたる経験をつむ期間	希望するコースで自らの力を発揮する期間

「入庁後の１０年間で３つの職場を経験する」と言われています。

道路・下水道・まちづくりといった異なる分野の部署を経験
また、計画系や整備系、維持補修部門といった様々な業務を経験
⇒土木職職員としてのスキル・知識・経験を積む！！

セクション：造園職

目次(のようなもの)

- ・配属先、職員の人数
- ・関わる分野、業務
- ・造園職のやりがい

造園職職員の配属先と人数

R8年度時点では
相模原市役所の造園職は全員で4名

- ・都市建設局 **中央土木事務所** 1名(13年目)
- ・環境経済局 **公園課** 2名(8年目、1年目)
- ・環境経済局 **水みどり環境課** 1名(8年目)

①中央土木事務所での仕事

●所属全体の役割

相模原市中央区の道路を対象に、維持管理や境界の確定、道路占有の許可等、幅広い事務を行うまちづくり部門の担当所属

●造園職職員の役割

街路樹などに関して、剪定や樹木診断などに係る委託の設計、監督業務を行い専門的な立場から、安全で適切な道路植栽の維持管理を行う。

①中央土木事務所(さくら通りの街路樹)

●さくら通りの街路樹管理 (市役所本庁舎付近)



②公園課での仕事

●所属全体の役割

市の管理している既存の公園の維持管理を中心に、一部大幅な改修や、新規整備を行い、市民の憩いの場や、交流の場となる「公共空間」を作り出す役割の所属。

●造園職職員の役割

維持管理計画や新規整備計画に基づき、それを具体的な形あるものとして実現するべく、専門的な知見から工事を発注し、整備などを実行する。

②公園課（相模原スポーツ・レクリエーションパーク整備事業）

●事業説明

JR相模原駅北口に位置する相模総合補給廠の共同使用区域に整備された10ヘクタールの運動公園です。令和6年度から全面供用が始まった、比較的新しい大規模公園です。

●整備前



●整備後



③水みどり環境課での仕事

●所属全体の役割

- ・「水とみどりの基本計画」「生物多様性戦略」の推進
- ・緑地の保全、緑化の推進
- ・緑化意識の普及啓発

●造園職員の役割

- ・緑地保全地域、都市緑地などの管理
※現地調査、伐採業務の発注、施工監督など

・緑地の保全・再生の推進

※「木もれびの森整備・管理計画」の作成・整備実施

・民間開発の緑化指導 ほか



「木もれびの森整備・管理計画」

③水みどり環境課



●枯れ木等の
現地調査



●伐採業務（市は業務の発注・監督業務）



●苗木植樹のイベントの参画
（学校・NPO団体等と連携）



●GREEN×EXPO2027
（出展する市の庭園の検討）

まとめ：造園職

- ◆緑が果たす多面的効果(水源涵養、防災、レクリエーション機能など)や緑地関連の法律を理解し、業務にあたること
- ◆安心・安全で、よりよい空間になるよう、公園緑地等の整備・管理を推進
- ◆みどり豊かな相模原の公園緑地の空間づくりに携わることができるやりがいのある職種

～最後に～

市民の暮らしを支えていることにやりがいを感じます！

相模原市では皆さんのような技術職員を求めています！

みなさんと一緒に働ける日を楽しみにしています！



ご清聴ありがとうございました